

言語活動の充実に関する実践事例

学校名(尾道市立因北中学校)

- ① 教科等 社会科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 「世界の様々な地域」
- ④ 本時の目標 「EUは拡大すべきか拡大するべきでないか」というテーマについて考えることを通し、EUの特色や課題について資料を根拠として考察し、表現することができる。
- ⑤ 学習の流れ (11時間目/全26時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 前時の復習をするとともに、学習課題を確認する。	・前時までに学習したEUに関する基本的な事項、EUが結成された目的、EUが拡大してきた様子を確認するとともに、現在加盟申請中の国を地図で確認する。	
EUは今後も拡大するべきか、拡大するべきでないか、ということについて考えよう		
2 自分の考えをまとめる。	・学習課題に関して、自分の考えを文章でまとめさせる。その際、使用した資料とそこから読み取ることのできる内容を明確にさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を選択し活用している。〔資料活用 の技能〕(ワークシート) ・多面的・多角的に考察を行い自分の考えを表現している。〔社会的な思考・判断・表現〕(発言・ワークシート)
資料…「EU・日・米・加盟申請3ヵ国」の「人口」「GDP」「面積」「貿易総額」「失業率」「観光客数」「国民総所得」が比較できるグラフ …州境地図 ・宗教分布図		
3 班で討議をする。	・各自が考え、文章にまとめた内容を出し合い、EUは今後も拡大を続けていくべきか、拡大していくべきでないか、について話し合い、意見をまとめさせる。 (予想される生徒の意見) ・ヨーロッパ諸国は一国一国では、GDPや国民総所得、貿易総額で日本やアメリカに対抗できないのでEUという共同体で日米に対抗する必要があり、今後も拡大すべきである。 ・EU加盟国は、GDPや国民総所得、主要産業や失業率、宗教も様々である。これ以上拡大するとそういった違いが対立の原因となることが考えられるので、拡大すべきではないと考える。 など	
4 発表と質問を行う。	・結論の根拠となった資料とそこから読み取ることのできる内容を明確にさせる。 ・班ごとに発表させる。 ・全ての班の発表が終わった後、他班から質問があれば受け付け、解答をさせる。その際、質問、解答とも、資料に基づき行わせる。	
5 振り返りを行う。 ○再度自分の考えを文章にまとめる。	・意見のやりとりを聞いて、もう一度自分の考えを文章にまとめさせる。 ・自分の思考の変容・思考の広がりや深まりを記述するよう意識させる。	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- EU等に関する様々な資料から必要な情報を読み取り考察し、自分の考えをまとめ説明することができる。

言語活動充実のための指導工夫

- 多面的・多角的な考察ができるように複数の資料を活用させる。
- 個人で考えた思考を広げ深めるために、討論会的な学習活動を設定する。